

平成 28 年度 北小学校区 第1回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市役所地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

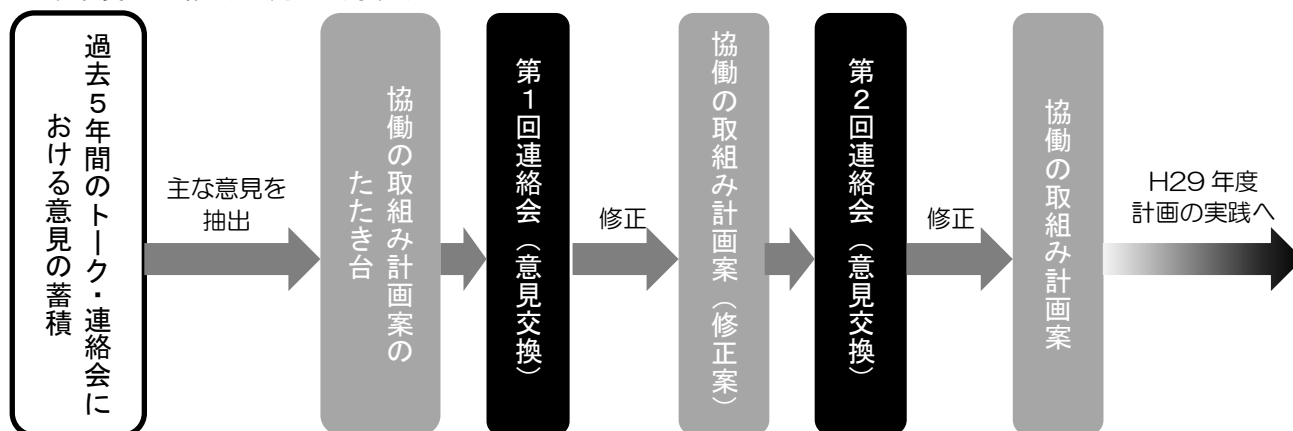
7月4日（月）に開催された「北小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

日時	平成 28 年 7 月 4 日（月）19:00～20:40		
会場	市民体育館		
参加団体 (30名)	中央町2区町内会 文教町1丁目町内会 合同宿舍文教住宅自治会 文教町2丁目自治会 加茂川町2区自治会 シャルマンコーポ町内会 壺町田1丁目自治会 サンステージ壺町田自治会 シャリエ三島壺町田自治会	北幼稚園 北幼稚園PTA 北小学校 北中学校 北中学校PTA 子ども会連合会 ひばり子ども会 東しよろい坂子ども会	つつじ子ども会 加茂川町子ども会 シャリエ Jr 子ども会 北小学校支援地域本部 北中学校支援地域本部 体育振興会 民生委員・児童委員 地域包括支援センター三島

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

～各団体/より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- ◆北中学校支援地域本部：学校と地域をつなげる取組みをしている。東門花壇整備(水やり等)の協力を募集中、なかなか担い手がいない。ぜひご協力お願いします。
- ◆壺町田一丁目自治会：9/24(土)・25(日)八幡神社祭典。大人も子供も町内一体となり実施。
- ◆北小学校支援地域本部：本年度設立。アンケート形式で協力できる活動や協力できる時間等の希望をお伺い中。回答にご協力ください。
- ◆北中学校：南校舎の建て替え、ご迷惑をおかけします。卒業生を対象に、写真撮影のできる日を設ける予定。
- ◆体育振興会：校区の運動会の会場は、北小学校になりました。お間違いないように。

意見交換のまとめ

- 第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予定です。

こんな小学校区にしたい

【Aグループ】

● サポート・輪

- ・ 高齢者と子どもがサポートし合える校区
- ・ 子ども達が協力し合う小学校区
- ・ 家族の輪、地域の輪、ご近所の輪を大切に
する地区
- ・ 見守り、声掛け、おしゃべりができる地区

● あいさつ

- ・ 誰でもあいさつができる
- ・ みんなであいさつし合う地区
- ・ あいさつ、年齢を超えたコミュニティ

● 安心・安全

- ・ 安全安心が感じられる学区
- ・ ピンチに強い小学校区（防犯を考えると）

● その他

- ・ 地域に開かれた学校（思い切って！）

【Bグループ】

● 輪

- ・ 手と手をつなぐ

● 笑顔・あいさつ

- ・ 笑顔であいさつ
- ・ 笑顔、あいさつ
- ・ あいさつのある
- ・ 笑顔を

● 元気・子どもの声

- ・ 元気、笑い声
- ・ 元気
- ・ 子どもの声
- ・ 明るい声で笑顔あふれる子ども達

● その他

- ・ 会話のあふれる北小区

お困りごと・現在の状況

	Aグループ	Bグループ
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の防災訓練日は、中学生が出やすい日程を学校に問い合わせしてから決めている。(シャルマンコーポ) ・防災訓練に高校生の参加を増やしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練をやってもノウハウが引き継げない。 ・どのようにして子どものやる気を起こさせるか？ ・水消火器は子どもが主体で行っている。(文教町西) ・高齢化した自治会の子ども会で、高齢者の家を訪ねて防災マップ作り。(他校区事例)
地域内連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少なく、高齢者が多い。共助の仕組みが必要。 →震災時の助け合いにつながる。 ・歩いて行ける所に、高齢者の居場所がない。 ・老人会を2年前に作り、月1回活動している。(賀茂川町2区) ・「居場所づくり養成講座」、「地域安心サポーター養成講座」を開催している。(社協) ・町内の少子高齢化が進み、行事への参加ができない。 ・近隣の他の町内からも、どんど焼きへの参加がある。正月飾りを持ってくる。(加茂川町) ・子どもが大人の行事に参加するのは、難しいのかな？ ・体育振興会行事への参加が少ない。 ・元気な人だけが運動会に参加。体力のない人は参加しない。 ・取り組みたいことは、ある程度全てやっている。(加茂川町2区) ・回覧板は全世帯に回っているか疑問。アパート等賃貸の住人は情報を知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもつながりで、親同士は仲良くなる。 ・子どもがいない世帯のつながりをどうするか？

取組みたいこと

子どもを対象とした防災訓練をしよう		
	A グループ	B グループ
まずは 楽しく	<ul style="list-style-type: none"> 工夫、しかけが必要。 (例：お菓子、参加証明のはんこ) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもでもできる炊き出し訓練と遊びを含めた内容にしていく。 炊き出しは年1回でもやっていると良いと思うが、材料の準備、役割分担が難しいかも。食べ物があると人は集まる。 ゲームやクイズなら子どもが喜ぶ。
子ども 主体	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを主体とした内容で検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに役割を与えることはできそう。親は子のためなら、負担があっても取組むと思う。 子どもに役割を持たせることは、良いこと。 子どもが主体となる防災訓練種目を取り入れる。ゲーム、クイズ等はできそう。 消化器、三角巾、起震車などを体験する。
子どもの 自発的な 企画		<ul style="list-style-type: none"> 自発的な企画 子ども達が楽しめる企画を子どもが考える。授業でクラスごと考え、企画提案してもらおう。
日程調整 &連絡	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体で年間スケジュールを共有する。 小中学生の参加は、<u>学校行事と調整</u>→<u>学校から子どもへ呼びかけ</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生が全員参加できる日を決める。 スポ少、部活をやらない日を決める。 地域のイベントは、学校で先生から強く勧めてもらおう。先生に言われるとヤル気がUPする。
学校で 訓練		<ul style="list-style-type: none"> 授業のカリキュラムに取り入れる。 北っ子祭りで防災テーマをやってほしい。 北小の文化祭で防災ブースを作って、みんなにアピールする。
夜の 防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> 中学生が夜、参加できるだろうか？ 老人や幼児は出られない。 夜と昼間では、課題・問題点が異なるので訓練で把握することは必要。年に数回訓練を行い、そのうち1回を夜に行ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 夜の防災訓練は、全体で取組むのは難しいのでは？
様々な 想定訓練		<ul style="list-style-type: none"> 訓練のための訓練でなく、<u>実際に起こることを想定した訓練</u>をする。 いろいろな災害を想定する。 「～だったら～」のように考える。環境に合わせて何を想定するか。 地区ごと特徴が違う。<u>地域的な事情を踏まえた内容を訓練に取り入れる</u>。 部屋のパテーションを破るなどの訓練。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 中学生だけでなく、<u>家族で参加する</u>ようにする。 「<u>なぜ防災訓練に参加するのか</u>」講座を行う。 大学生の参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練に興味を持ってもらう。 やっけていても知られていないこともある。 災害時のボランティア活動についても紹介をさせてもらえると良い。

地域住民同士がきずなを深める具体的な取り組みを進めよう

	A グループ	B グループ
イベント活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを通じた交流で<u>顔見知り</u>になる。 ・ <u>年間行事</u>の活性化。 ・ <u>町内の活動を広めること</u>（広報）が大切。 ・ <u>老人会</u>を活用。 ・ <u>町内会活動が弱い町内は、近隣の活発な町内と組んで活動。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加できなかった人が興味、関心を抱いてもらえるように校区祭などの<u>様子を広報</u>する。（例：新聞、HP、広報誌）
運動会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区の運動会を変える。<u>杖をついた高齢者も参加できる内容</u>にする。 ・ 北小校区運動会の活性化を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区運動会で<u>小中学生が係を受け持つ。</u> ・ 校区運動会の<u>上位の商品を良くして</u>関心を持たせる。現在は上位でも下位でも全部同じなので。
高齢者居場所作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が<u>日常的（定期的）に集まれる場</u>があれば良いと思う。<u>おしゃべりできる場。</u> ・ 老人会の組織化、活性化。 	
協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>子どもと大人が一緒に仕事</u>をすることで、地域のきずなを強める。（例：アルミ缶収集、ゴミ出し、地域の草刈り） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域で何かしたいと思っている人の発見。</u> →町内会長 OB が有力（経験と知識あり）。 ・ <u>子どもの貧困に目を向け、助け合える地域に。</u> →行政でできること、地域でできることを把握し、できることから始める。 ・ スクールガードの必要性を感じている。 ・ 計画の構成団体案に老人会が入ってない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大人の会、夫人の会、青年の会、子どもの会の再結成&交流。

地域の防災意識を高めよう		
	A グループ	B グループ
地域行事を活用	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練だけで終わってしまっている現状。<u>子どもからお年寄りまで、防災訓練から運動会まで、防災を鎖のようにつなげたい。</u> ・多くのイベントで防災要素を取り入れる。 ・多くの方が出られるように工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>試食コーナー、プラス一歩、他の行事。</u>
体験談を伝える		<ul style="list-style-type: none"> ・生々しい情報を伝える。 ・東日本大震災の<u>体験談</u>は効果的。 ・訓練日に<u>防災ビデオ</u>を見る。 ・転入者は過去の経験がないので、過去の災害の例（川の氾濫等）を<u>ポスター展示</u>する。
学びの場		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>家族や親子で参加できるような地域の防災学習会</u>があると良い。 ・地震が起きた時、この地域は何に気を付けたらよいか？ ・避難所訓練（泊まる等）。社協に泊まってみませんか！
参加証 リーダー証 内申点		<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災に参加した小中高生は<u>カード</u>を作って、学校に報告する。 ・町内会、子ども会の防災訓練に参加した子へ「<u>防災リーダー証</u>」を学校長に発行してもらおう。子どもの意識が高まりそうだ。 ・よこしまな考えですが、中学生は訓練参加で内申点1点プラス。
授業で		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>防災 DAY</u>を設け、平日、授業時間内にやる。<u>校区内一斉</u>。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・防災は地域住民のきずなを深める最後のキーワードではないか。防災＝自分の命にかかわること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>他との連携</u>。（例：8/21 北小体育館で、消防団とイベント実施） ・<u>広報活動</u>。活動をアピールした方が良い、楽しいから。 ・まずは地域から訓練、赤ちゃんのいる家庭に水を届ける。（中高生） ・行事に対してかけられる保険について相談に乗ります。（社協）

意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

◆こんな小学校区にしたい

- ・「サポート」「輪」「あいさつ」「安心・安全」「笑顔」「元気」などの言葉を用いる。

◆お困りごと・現在の状況

- ・子どもが少なく、高齢者が多い。
- ・「どのようにして子どものやる気を起こさせるか」が課題であることを追記する。
- ・回覧板を通じて情報がいきわたっていないことを課題として追記する。

◆取組みたいこと

<子どもを対象とした防災訓練をしよう>

- ・夜の防災訓練は、中学生が参加できるかわからないので、語尾を「検討する」に修正する。
- ・「子どもが主体となる防災訓練」は、「子どもが体験できる」に修正する。
- ・防災訓練の日程を学校行事やスポーツ少年団、部活動などと調整する旨を追記する。

<地域住民同士がきずなを深める具体的な取組みを進めよう>

- ・「考え方」などに、地域行事などの広報活動について追記する。
- ・運動会の競技に参加しやすくすることを追記する。

<地域の防災意識を高めよう>

- ・多くのイベントで防災の要素を入れることを追記する。
- ・防災学習会について、「家族や親子で参加できる」ということを追記する。
- ・災害のパネル展示について追記する。

◆その他

- ・「協働の仲間たち」にある「合同宿舎文教住宅子ども会」を「さくらんぼ子ども会」に修正する。